⑲ 日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

® 公 開 特 許 公 報 (A)

昭64-21486

௵Int,CI,⁴

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和64年(1989)1月24日

G 09 G 1/00

A-6974-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

母発明の名称 表示装置

②特 類 昭62-177269

愛出 願 昭62(1987)7月17日

東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

创出 關 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

砲代 理 人 弁理士 芦 田 垣 外2名

明 🗐 🖀

1. 発明の名称

表示英鲨

2. 裝許請求の範囲

1. 水平走査線水平同期信号を入力し水平度査 線水平偏向のとぎり成を出力する水平度査線水平 偏向のとぎり改発生器と、

垂直走底線水平同期信号を入力し無直走旅線水平偏向のこぎり放を出力する垂直走査線水平偏向のこぎり放発法器と、

水平走在線透底同期信号を入力し水平走空線透 面積向のこぎり設を出力する水平走空線透底偏向 のこぎり披発銃器と、

事 底地 を 級 番 道 问 期 信 号 を 入力 し 垂 底 鬼 査 蔽 患 直 偏 向 の こ ぎ り 波 を 出 力 す る 垂 直 走 査 繊 垂 直 傷 向 の こ ぎ り 変 発 生 器 と ・

免査療水平垂直切換保守を入力し、入りした定 登線水平垂直切換保守の指示に従って、前記水平 走登線水平偏向のときり変発生器によった。 主教水平場向ののできり変発生器がたる。 主教水平場向ののできり変とののにはある。 主教水平場向のできずがといってものできる。 を登れた水平場向のときが変としている。 にはなってもののときが変としている。 にはないでは、からいでは、

映像信号と・前記を森線水平垂直的換器によって選択された水平偏向のこぎり放と・舶記を査線水平垂直切換器によって選択された垂直偏向のこぎり波とを入力し、水平走空線映像と垂直走在線映像とを出力する表示器とを有し、

水平走空額映像と垂直走空額映像とを時分別で 出力することにより、どの方向に関しても適常数 を通続的に増加させることができる表示装置。

(1)

(2)

新開報64-21486(2)

8.発明の発顔な説明

[産業上の利用分野]

本発明性,走査線を用いる表示袋器に関する。 [従来の技術]

走査線を用いる従来の表示値関にかいては,走 査額の方向は,単一方向に固定されていた。

[発明が解決しようとする問題点]

上述した従来の技術では、走套線の方向に関しては、表示表になっては、表示表になってはなっているとなった。とのため、定性を作成する投稿を作成するとなっているが、定性をの方向以外の方向に関しては、を増加させることはできず、走を線の本数を増すことにから、たったのの方向以外のの画家数を増加させることは困難であった。

[問題点を解決するための手段]

本発明による表示装置は、

水平 走 空線水平 同期 信号を入り し水平 走 登線水平 偏向のとぎり 茂を出力する水平 走 登線水平 傷向(3)

によって出力された強重走査線垂直偏向のこぎり放 波とのうちのどちらか一方を張底値向のこぎり放 として選択する走査線水平垂直切換器と、

映像信号と、前記世登戲水平垂直切換幅によって選択された水平偏向のこまり放と、前記走登録 水平垂直切換器によって選択された垂直傾向のこ きり収とを入方し、水平走査線映像と垂直埋査袋 快像とを出力する装示器とから模成され、

水平地査憩映像と語園走査線映像とを時分割で 出力することを特徴とする。

〔突旋例〕

大に本発明の実施例について図面を参照して詳 細に説明する。

第1回を参照すると、本発明の一実施例による 表示妄題は、

水平走班銀水平同期信号101を入力し水平走 を搬水平偏向のこぎり放102を出力する水平走 至線水平偏向のこぎり放発生器1と、

益恵遠査額水平同期信号 1 0 3 を入力し差直定 査額水平偏向のとぎり被 1 0 4 を出力する心理を

(5)

のとぎり放発生器と、

整慮患去額水平同期信号を入力し垂底患者線水平偏向のこぎり故を出力する垂直完整線水平偏向のこぎり故を出力する垂直完整線水平偏向のこぎり故発生器と、

水平走査線極適同期信号を入力し水平危査線 直傾向のこぎり数を出力する水平危査線等直偏向 のこぎり放発生器と、

無直定療録垂直周期信号を入力し垂直定査療動 直偏向のことり数を出力する垂直定査解表直偏向 のことり放発生器と、

玄線水平偏向のこぎり波発生器2と.

(4)

垂直定在級垂直同期信号 1 0 7 を入力し悪意走 登線垂直偏向のこぎり被 1 0 8 を出力する勢直走 登線垂直偏向のこぎり被 3 5 8 4 と 。

(6)

特盟総64-21486(3)

して選択する定査線水平銀度切換器5と・

. .

第2 図は、本東越例における裝示艦 6 が出力する水平定査が映像と垂直ル査接映像との概念圏である。

第3 図は,本実施例における同期信号とのこを り波と危査療水平垂直切換信号と映像信号との時 間的関係を示す図である

第1國,第2國,第3図を参照すると,

走査離水平銀度切換信号109によって水平走査線が選択されると、水平走査線水平偏向のとぎり放102が水平偏向のとぎり改110として採用され、水平差査線整度偏向のとぎり放106が 頭を傷向のとぎり放111として採用され、表示 86は水平走査線映像201を出力する。とのと (7)

おける同期信号とのとぎり放と走査療水平垂直切 換信号と映像信号との時間的関係を示す図である。

代表人 17783) 分层土 池 田 憲 保



きの各部の故形は、第3回の左半分に示されてい な。

又,党查额水平墨面切换留号109によって露直走充線が選択されると、距面党查線水平偏向のこぎり被104が水平偏向のこぎり被1100として採用され、垂直定查線速度偏向のこぎり被108が露直偏向のこぎり数111として採用され、安示器6位置度定金線映像292を出力する。このともの合部の数形は、第3四の右半分に示されている。

[発明の効果]

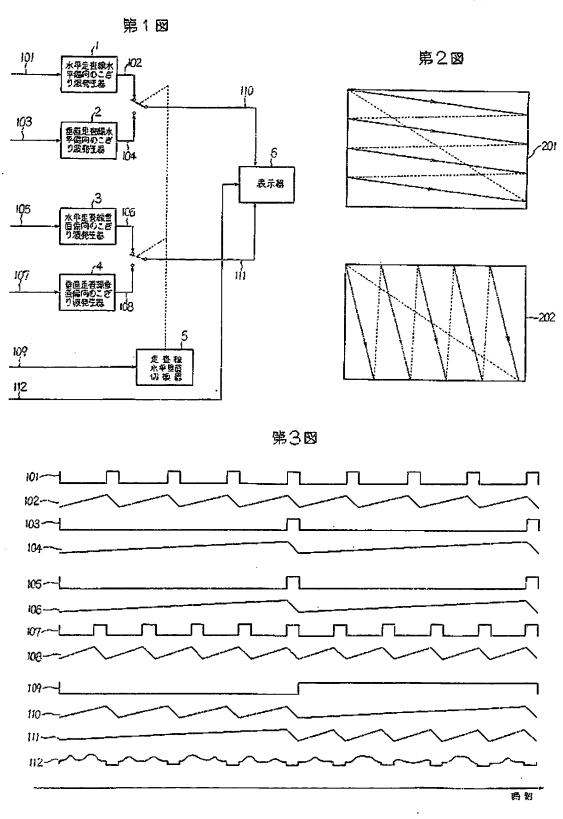
以上の説明で明らかなように、本発明によれば、 どの方向に関しても画家数を連続的に増加させる ことができるという効果がある。

4.図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例による表示委屈の線 成を示すフェック図、第2図は第1図の実施例に おける表示器が向力する水平定整線映像と垂直度 登録映像との概念図、第8図は第1図の実施例に (8)

(9)

預期9864-21486(4)



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.